

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立立川高等学校定時制

教科・科目	地理歴史・地理A	2単位	対象学年・組	4学年選択
教科書	基本地理A(二宮書店)	教科担任	木谷 隆太郎	

1. 目標 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、地理的認識を養うとともに、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。
2. 学習の到達目標 現在世界の地理的な諸課題について様々な資料を用いて考察し、表現することができる。

### 3. 学習内容と学習上の留意点

	予定授業時数	学 習 内 容	学 習 上 の 留 意 点
1 学 期	24 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の地形と人々の生活</li> <li>火山の成因と防災</li> <li>武蔵野台地の地形と人々の暮らし</li> <li>多摩川の形成する地形と防災</li> <li>日本の気候と生活文化</li> </ul> ＊期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>地形を形成する内的営力と外的営力について、その原動力と作用を理解する。</li> <li>複数の資料を読み解き、火山の成因と災害の実態をふまえて防災について考えさせる。</li> <li>地形の形成過程と、その特徴を生かした人々の生活の様子について考えさせる。</li> <li>学校の立地する武蔵野台地を取り上げ、国内にある類似の地形などを参考に、形成要因を考察させる。</li> <li>気候の特徴と人間生活との関わりについて考察させる。</li> </ul>
2 学 期	26 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の気候と食文化</li> <li>日本の工業と交通</li> <li>世界の資源・エネルギー問題</li> <li>東アジアの生活・文化</li> <li>東南アジアの生活・文化</li> <li>南アジアの生活・文化</li> </ul> ＊期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の伝統的な食文化の地域差を理解させ、そうした背景には気候の影響があることを考察させる。</li> <li>世界の工業について、工業の発達や立地、世界の工業地域について理解させる。</li> <li>世界の資源やエネルギーはどこで生産され、どこで多く消費されているかを理解させる。</li> <li>各地の自然環境や産業・歴史について、日本との類似点と相違点に注目して、考察する。</li> </ul>
3 学 期	20 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ・ロシアの生活文化</li> <li>南北アメリカの生活・文化</li> <li>オセアニアの生活・文化</li> <li>日本の自然環境と防災</li> </ul> ＊期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地の自然環境や産業・歴史について、日本との類似点と相違点に注目して、考察する。</li> </ul> <p>日本の地形や気候の特徴を捉え、その自然環境がどのような自然災害と結びつくのかを考察する。</p>

### 4. 学習者への注意

- 遅刻・欠席をしないこと
- 学期ごとにプリントやノートを提出すること
- 授業内で配布するプリントを適切に管理すること

### 5. 評価の観点・方法

定期考査の得点、提出物の状況、学習態度、出席状況等を総合的に判断する